



NO 1 3 9

H11年1月1日

— 発行 —

〒869-1217

熊本県菊池郡

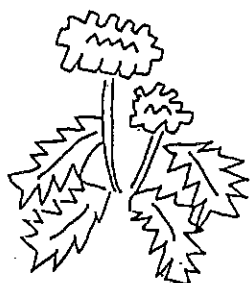
大津町森 54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



自己紹介

園長 松田 健

十二月一日付けで三気の里の園長に就任した松田と申します。知識も経験もない若輩者です。多分私の経歴を聞かれると「たんぽぽ」を読むのをやめられるのではないかと思います。私も恥ずかしいので省略したいのですが、海のものとも山のものともわからない人物が毎月巻頭で何か書いたものを読まれるのは苦痛だと思しますので以下簡単に記します。

三気の里に就くまでは高校で教員をしていました。「底辺校」と呼ばれている学校だったので学習面では理解の遅れている生徒が多かったように思います。私の勤めていた学校名を聞き、よく「大変だったでしょう。」と言われますが、素直でいい子が多く、今でもおつきあいをさせていただいている人が多数います。

自閉症の生徒を受け持ったこともありますが、当時は(も)全く理解していませんでした。その子は一年生の時、十人ぐらいの子からいじめにあい、二年生の時に私のクラスに移ってきました。自閉症が何たるかをわからないまま「いじめはだめだ。」という観点から生徒に説いていました。表面的な問題はでませんでした。裏で全く何もなかったかと問われると自信がありません。

教員時代を振り返ると特に指導に熱心だったわけでもなく、いい先生ではなかったと思います。クラブ活動でバスケットボール部の顧問をしていましたが、部活動だけは一生懸命取り組んでいたような気がします。年に十日も休んでいませんでした。だからといって生徒はどう思っていたかという問題は別です。年々、職員への管理の度合いが

増すにつれ、嫌だなあと思うことはありましたが、教員を辞めるとは思っていませんでした。

今から二年前、故田中施設長より話があり、悩んだすえ転職することを決意しました。施設長は私の叔父にあたります。親戚関係にあるうえ、いきなり副施設長として入って来たので、奇異の目で見られています。しかし、私も逆の立場だったら同じような目を見たと思います。

指導員の仕事と管理職の仕事をしていました。がうまくいきません。それでも二十年ぐらい勤めれば何とかなっただかも知れませんが、施設長は一年半で他界されました。教えていただくことは山ほどあったのですが、私に多くの課題を残されたまま逝ってしまわれました。

勿論、私が園長になることを当所お断りしました。遺書に私を指

名してあったことだけでは理由として不十分でしょう。自閉症の方知的障害の方と寝食を共にするうちに私の中で気持ちの変化が起きました。日和見に生きていた自分が初めて主体的に生きてみようと思ったと言ったらかなり大袈裟でしょうし、嘘っぽく聞こえるかも知れませんが。自閉症者、知的障害者に携われば携わるほど、その難しさを実感し、奥の深さを痛感します。そして一方で、一生をかけても果たし切れないやりがいを見出します。中途半端な気持ちでは出来ない仕事であること、自分が少しでも諸先輩に追いつくためには勤務時間内では到底追いつかない状況であることがようやく近頃わかってきました。(今頃気付くその背景には「障害者」への不認識と私が教員をしていたことでの「のぼせ」があったと思います。)

その矢先の田中施設長の死去だったので、私がそういう気持ちになるのを待っておられたのではないかと真剣に考えたりもしました。いくら文章を展開しても私が園長になる必然的理由は見当たりますが、今は頑張りますとしか言

えません。皆様の忌憚のないご意見を仰ぎながら、いい施設作りを目指したいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。

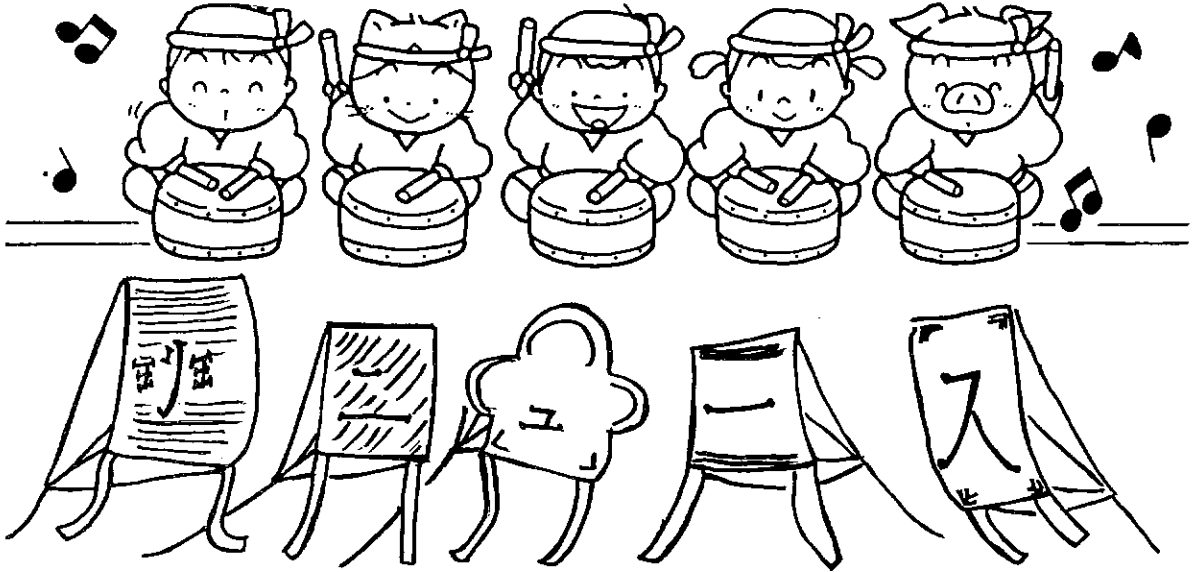


第一回福祉祭り

南 和美

去る十二月十三日、大津町社会福祉協議会主催による福祉祭りが盛大に開催されました。三気の里ではミュージックベル演奏の発表をさせて戴き、他多数の園生も参加しました。保育園から年輩の方まで、数多くの方が歌や踊りの披露をされ、長丁場の中でも皆、楽しそうに見入っていました。

さて、ミュージックベルの演奏というところ、初お披露目の「もののけ姫」も大成功！次回はどんな新曲が出来上がるのでしょうか？乞御期待！最後となりましたが、実行員の皆様、大変お疲れ様でした。来年も楽しみにしています。



1班・忘年会

朝起きが辛い季節になりました。皆様はいかがお過ごしですか？私かというと…自分のことはさておき、去る12月10日にレクリエーション（忘年会）が翡翠の庄で行われました。今年1年を忘れるということで（自分にとっては思いで深い一年になりましたが…）ご飯を食べ、その後ゆっくり温泉へ。（ゆっくりといっても、いつものようにバタバタでしたが…）

1班の皆は前日から楽しみにしていたようで、現地に着いたときは皆ソワソワしているように見えました。そのためか、ご飯のとき待ちきれず手の出る人や、「刺し身ある？」とメニューを聞いている人もいました。いざ食べ始めると目もくれず食べる人もいれば、箸がなかなか進まない人もいましたが皆楽しく食べていました。

食べ終わってからは、温泉に入りました。みんな気持ち良さそうにしており、中には寝そべっている人もいました。楽しい時間は早く過ぎるもので、翡翠の庄のSTAFF方に見送られ三気の里へ。途中でおやつ（ソフトクリーム）を食べ震えている人もいれば、急いで食べ過ぎて頭を抱えている人、食べたりなさそうな顔をしている人など、様々でした。またこんな楽しいレクリエーションをしたいですね。

今年も残すところ後わずか。みなさんは今年1年どんな年でしたか？

それでは、来年もみんなにとって健康で楽しい年でありますように…

笠松

2 班 - 一年を振り返って

あっと言う間にまた1年が過ぎてしまいましたね。師走と言いますので気分だけは慌ただしいのですが、何一つはかどりません。無事年が越せるのかどうか不安になってしまいます。それに比べ2班の面々は今年も着実に成果を残してくれました。大掃除の季節なので掃除に関するところから見てみると、忠ちゃんが毎日毎日はりきって、しかも朝食後すぐに掃除をしてくれるようになりました。10年余りいつも最後の最後にやっとお尻を上げていた忠ちゃんがです。その為2階の旧棟では毎日毎日、「早いな！マークIIみたい。」とか「エライ！」とかいう声が響いています。トイレ掃除当番には新メンバーとして幸恵ちゃん加わり一人一人が手順を覚え、ほとんど自分達でしてくれるようになりました。作業では博君がネットを20組カゴに並べられるようになった事。この事は同じ班の田辺さんが「ボクのいない間に…」と驚いた程です。毎日一緒にいると当たり前のことのように感じてしまいますが、改めて1年を振り返るとみんなが一人で出来る事が随分増えているんですね。みんなの成長は他にもまだまだあります。詳しくは、各担当にたずねてみて下さいね。

また新しい年が来ます。ますます自分達で出来る事が増え、生活の幅が広がる1年が来ます。とても楽しみです。どんなことが待っているんだろう。ワクワクしますね。

みんないい年を迎えて下さい。

石丸

3 班 - The - 今年のアльバム

さあ皆さん、今年の木工班のアルバムをちょっと覗いて見ましょう。

毎日の作業では、ペーパーがけなど皆が心を込めて作った、お家の置物が大好評で多くの方に購入して頂きました。又、ちょっと難しいかな？と思っていた教材にもどんどんチャレンジし、一生懸命頑張りました。

そういえば4月、7月のレクリエーションは雨でしたね。しかし、そこは木工班、雨で予定が変更してもとても楽しく過ごせました。9月の宮崎宿泊レクリエーションでは、保護者の皆さんにも参加して頂き、シーガイアで泳いだり、美味しいものを沢山食べたりと、とてもすばらしいレクリエーションとなりました。今月のレクリエーションでは、とても寒かったのですが、炉端焼きで田楽やだご汁を食べ、温泉に入り体の芯まで温まり、のんびりとすることができました。

今年も木工班のアルバムは、皆の笑顔でいっぱいです。さて、来年はどんなアルバムになるのか楽しみです。

岩本

5 班 - 年忘れ豪華版

冷たい北風が吹く今日この頃ですが、我が園芸班は毎日寒さと戦いながら外作業に励んでいます。そこで、皆の頑張りと言一年間御苦勞様でしたと言う意味を込めて、12月16日(水)に忘年会を兼ねたレクリエーションに出掛けました。場所は釜萬。刺し身、天ぷら、豚の角煮、茶わん蒸し、みそ汁、釜飯、ジュースとテーブルに乗り切れないほどの豪華料理に、皆の目は釘付けで、今にも涎が落ちそうでした。どこまでが自分の料理なのか心配で一気に食べてしまう人とゆっくり味わう人と様々ではありましたが、皆に共通して言えたのが、食後この皿にはいったい何が乗っていたのだろうかと思う程きれいに食べ切っていたこと。釜には米粒、おこげすら残っておらず、お店の方はさぞかし片付けが楽であったろうと心配した程です。「おいしかった」とたくさんの方が聞き、また行きたいと思うような楽しいレクリエーションとなりました。

今、秋に種を蒔いたハーブや球根類が順調に育っています。来年の春には三氣の里の花壇や玄関を華やかに飾れそうです。乞う御期待！

P. S. 今回は入院中の為、残念ながら忘年会には参加できなかった松島さん。来年はいよいよ還暦ですね。楽しいことがたくさん待っているの、早く元気になって下さい。

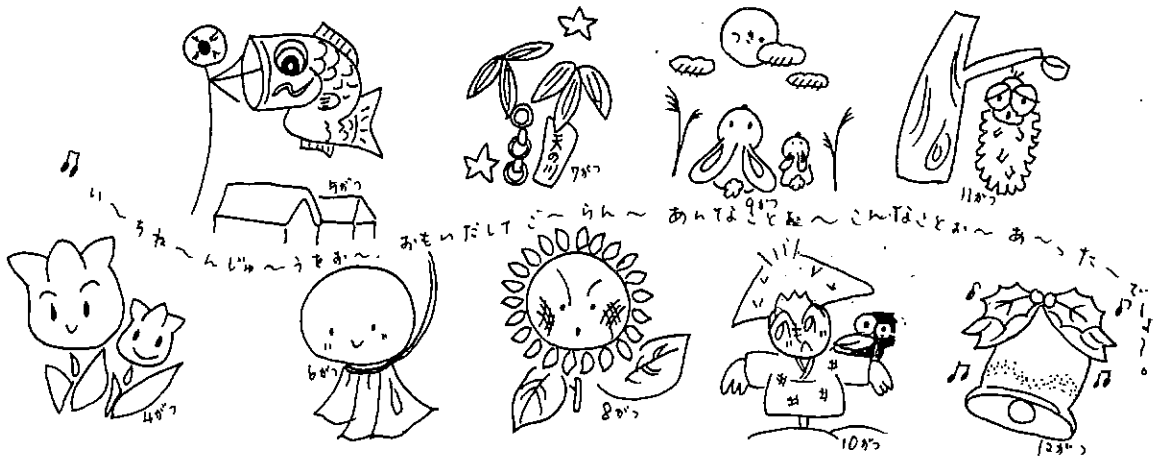
佐藤

4班・今年の十大ニュース

やっと12月らしい(…?) 冷え込みになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年ももう早いもので、1年を振り返るような時期になりました。そこで、農耕班十大ニュースとして1年を追ってみたいと思います。まずその1 隆博くん、班代表で白川ラインマラソン出場。パチパチパチ!(1月)。5kmに出場し見事完走しました。その2 潔くん、午前中仕分け班専属となる。

(4月)。やはり班代表で午前中仕分けをやってくれています。むかし取った杵柄で多量の洗濯物をカゴにいられています。その3 英輔くん、藍ちゃん、農耕班に新加入。年度末の作業班再編成により4月から農耕に加わりました。色んなことをどンドン吸収して頑張ってくれています。その4 畝立て機導入(6月)。さつま芋やジャガ芋などを植えるために畝立て機を買ってもらいました。これからもっともっと良い野菜を作るぞ。その5 草取り頑張る。(6~9月)今年の夏は猛暑とも酷暑ともいえる中、特に緑恵さん、久美さん(手本見せようか!とって頑張ってくれました)、猛くん、泰くん、一裕くんが頑張って、昨年に比べてとても上達しました。その6 水撒きがうまくなる。

(通年)暑かった夏にコツコツと水撒きをしたお陰で、浩一くん、信之くん、聡くんがゆっくり、じっくりと水が撒けるようになりました。その7 天候不順、雨不足で野菜育たず。(9~10月)今秋の野菜価格の高騰の原因はこの時期の天気の影響していました。蒔いた種が発芽しきれない状況が続きました。その8 運搬作業一等賞。(通年)収穫した野菜の運搬はもとより、堆肥や土運びなど一輪車の扱いなら創くん、新一くん、高志くんがピカー、重いものでも腰がふらつかず安定感もバッチリです。その9 さつま芋大量に収穫。(9~11月)今年のさつま芋は前出の畝立て機のおかげもあってか、いつもの年に比べて大幅の増収・増益でした。しかも大きすぎるくらいの芋も調理して食べてみるととてもおいしと好評でした。その10 福崙さん、今年も藁ツト作り始まる。刈り取ったばかりの稲藁を使って行う、この時期ならではの作業です。ここで番外編を紹介、第4位 泰さん農耕班に加わる。8月より非常勤職員として農耕班に参加され、毎日毎日暑い中での草取りご苦労様でした。第3位 広瀬さん一人暮らしを始める。(特に説明は必要ないでしょう)。第2位 石井指導員、待望のパパになる。(このたんぼぼが皆さんのお手元に届くころにはきっと誕生しているはずです)。ジャジャジャジャー番外編第1位は、満原指導員、結婚決まる。(お相手はご想像にお任せします)(石井家同様、このたんぼぼが届くときには新妻(これって死語?)になられているはずです。)長~~~~い、1年回顧になりましたが、来年ものんき、こんき、げんきで頑張りますので農耕班の野菜を宜しく願います。(職員の皆さん、勝手に番外編を作ってゴメンナサイ)。 木下



親

田邊 剛政

先日、2班が保護者と一緒の昼食会をしました。当日は保護者会の日でもありほとんどの園生はその後帰宅します。その前の昼食会でそこから園生の反応もさまざまです。スケジュールは園からバスで移動して会場へ行き（親は別の車で رفتり、直接会場へ行かれませす）、宴会の後またバスで園に戻り（このときも親は別の車です）、親は保護者会に、園生は作業棟へと別行動となり、その後帰宅することになります。園生は、知的障害、ダウン症、自閉症といろいろな方たちです。知的障害の方たちは親が来るのか来ないのかがずっと前の日から気になります。来ないと分かればそれはそれで悲しみもあります。気持ち切り替えることもできます。なかには、親が来ると分かっても本来に来るのかが気になり日常生活に大きく影響してくる方もいます。当日もお母さんが来られるまで本人は不安で一杯です。口には出しませんがその行動が物語っています。しかし、

親の顔を見ると安心し普段の調子の良さを取り戻します。ダウン症の方は、何事もマイペースで親が来るか来ないかも余り関心がないようです。あらかじめ予定を伝えれば理解できるからでしょう。か昼食会をととも楽しめていました。自閉症の方達は様々です。皆同じなのは当日まで無関心でいられることです。しかし、当日は昼食会より帰宅することだけが気になります。寝具類のカバーを全部袋に詰めて帰る準備をして車に乗ろうとするA君、彼は言葉での理解力を提示してもう一度スケジュールを提示して荷物は置いて行くことを伝えます。拘りが強ければ大変ですが最終的には帰宅できるので理解してくれました。宴会中は食べることに集中するのでさほど問題はありませぬ。しかし、B君は、宴会後、親が先に席を立ったことで後追いをします。親の方へ行かないようにブロックしてバスに乗せませす。バスに乗ったことで親への拘りは消え待つことを理解しました。C君は、親と離れたことでやはり不機嫌です。バスの中で叫んでいる園生をつねりました。彼の場合は、まだ保護者会があると

か帰宅できないのでは？等という関連性はないようです。D君もやはり、帰園するバスの中で「お母さん」と何度も叫んでいます。別々の車で園に戻ることで帰宅できないのかと思ったのでしようか、それぞれ知的障害者やダウン症の方達には見られない反応です。自閉症特有の見通しを持ってない、いい例かと思えます。自閉症の方たちへのスケジュールの提示の仕方の難しさ（未熟さ）もありA君以外皆宴会後にちょっと混乱してしまいました。一番の楽しみである帰宅親と園という因果関係がそこにあると思われませす。

親の存在（愛情）が最も必要とされるのが以前社会問題になった行為障害とか学習障害あるいは、注意集中困難障害と呼ばれる人達です。幼児期からの適切な教育（療育）を受けるとともに母性愛、父性愛を十分に満たしてやることで二次的な情緒障害を引き起こさない身近な手段です。それぞれ障害は違っても親への思いは皆一緒のようです。特に三気の里の園生にとつて親は帰宅に結び付くために親の存在の大きさが分かるような気がします。

A D H D 児の理解と教育

佐藤 香織

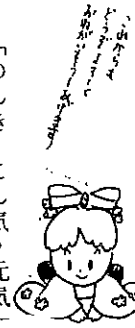
11月28日、29日に東京で開催された佐々木正美先生によるセミナーに田邊看護士と二人で参加させて頂きました。近年、A D H D（注意集中困難・多動障害）、学習障害、自閉症、高機能自閉症と言われる障害の境界を見定める事が容易ではなく、それらの異同や連続性に関する研究が進められている事、また無理解や誤解が二次的な情緒障害、心因反応、心身症等の徴候を引き起こし苦悩している事例の内容について、詳しい話を聞くことができました。

今回の研修に参加し、新たに発見した事や再確認できた事が多々あり、多くのものを学ぶ事ができました。これから今回得たものを少しでも伝え、実践していく事が今後の課題だと思っています。

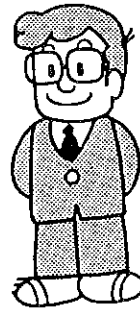


一年を

振り返って



「のんき・こん気・元気」の意味が一年分だけ理解できたような気がします。
施設長 松田



三気の里に就職して無我夢中であつと言う間の4カ月でした。来年も仕事を覚えます。
橋口



夢叶って再び園生の皆さんと一緒に過ごすことが出来るようになりました。忘れていた大切なことにも沢山気づかせてもらって毎日の生活に潤いを感じています。



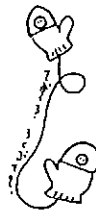
黒澤

今年には私にとって「三気の里に入社できた」という大きな年でした。これからも「初心忘れべからず」で頑張りたいと思います。



蘭牟田

振り返ってみると早い一年だった様に思う。真つすぐ歩くのみ。



田之上

あつと言う間に過ぎた一年でした。来年も健康に気を付けて頑張ります。



岡田

今年1年勉強の年でした。職員の方、園生の皆から教えてもらったりと。来年も色んなことを学び取り組んで行こうと思います。



笠松

寅年で優勝を期待したタイガースも最下位で終わってしまった。頑張れタイガース！僕もマイペースで頑張ろう。



石井

自分が大切にすべきものは何か改めて自覚させられた年でした。良き仲間と共に前進していきたいものです。



平川

何があつたか思い出せない程めまぐるしい1年だった。ただ単に忘れっぽいだけ？



石丸(画)

今年もかけ足の一年でした。来年こそは、ゆっくりと歩いて、たくさんの事に挑戦したいです。



緒方

風邪をひくことが多かった。来年は健康第一で頑張ります。国本



私にとって人生の岐路となった年でした。来年も「のんき・こんき・げんき」をもっとうに家事と仕事の両立を、頑張ります。南



南

今年には体調を崩したので、来年は健康に気を付けながら頑張ろうと思います。



中山

4月から三気の職員として働きはじめ、かれこれ一年が過ぎようとしています。まだまだ勉強不足で園生、先輩方に迷惑をかけてばかりです。初心を忘れる事なくこれからも頑張っていこうと思います。



東内

今年一年は忙しく過ごしたためか、短く感じた。来年もいろいろな事を吸収してもっと成長したい。



高田

我が家にも昨年は娘が嫁ぎ、六月に初孫が出来ましたが、三気では不幸なことがあり、今後皆で協力しあって行きたいと思えます。

砂野



9月から仕分け作業に入り、早4カ月。午前中だけです。とてもやり甲斐のある楽しい毎日です。来年も頑張ります。

中牟田



公私ともに、とてもあわただしい一年でした。来年もよい年になりますように。

峯



「ありがとう」の一言を、切なく尊く感じた一年は、私の人生で最も幸せな旅立ちでした。大石



色んなことが沢山あり、あつと言う間に一年が過ぎた気がします。来年はまた気持ちを新たに頑張っていきたいと思えます。

榎本



今年、五班での新たなスタートをきり、内容の濃い一年でした。毎年書いても全く実現しないとかかっていても、やはり書いてしまおう。来年こそはやせてやるー！

佐藤



色々あって、あつと言う間に過ぎました。来年は今年以上に、充実出来る年になればと思えます。

前田



目紛しい1年だった気がする。パクパクと時が流れた。もっとのんびり1歩1歩踏みしめるような毎日に変化させて行きたい。坂本



今年、結婚、妊娠と保護者の方や職場の方々にとっても迷惑をかけてしまい大変申し分けありませんでした。

石丸(純)



公私ともに忙しい一年でした。でも、忙しいということは、嬉しいことですね。一つ一つ、片付けるぞ！

高橋



生涯忘れられない出来事が色々あった一年でした。来年は「奥さん」と呼ばれないように頑張ります。

矢野



嬉しいことがありました。SV資格がとれました。悲しいことがありました。大切な人を失くしました。

木下

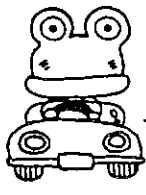


今年、波瀾万丈な年でした。これからも色々あると思えますが、マイペースで頑張ろうと思えます。



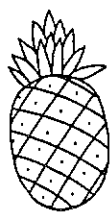
今年も忙しい一年でした。来年は、ゆとりのある、そして、新人さん(ミッチー)に負けない様に若作りして頑張ります。

金丸



もう少し、ゆっくりと年が過ぎてくれれば...と思う一年間でした。来年も笑顔で頑張ります。

麻生



今年一年も泣いて笑って色々なことがあった一年でした。厄年も終わったと思ったら、今年、世紀末がやってきます。さあ来年も頑張るぞー！

八木



私にとっても、三気の里にとっても大きく変化した今年、来年は心身ともに成長出来るように努力したい。来年も頑張るぞー。山口



今年忙しく、周りに気を配ることが出来ませんでした。来年はもっとゆとりを持って皆に気配り出来るようになります。上村



「あー。今年は頑張った!」と言えるような年に、来年こそはしたいなあ……。って毎年言ってるらどうしよう。広瀬



今年から新人の矢野さんが仲間入りし、賑やかな一年でした。来年も頑張るぞー! 堀尾



今年は大転機のおとずれた年でした。来年を、もっともっと素晴らしい年である様、祈っています。



三気の里で過ごしたはじめての一年間は、よく食べ、よく笑い、よく学ぶことができた年となりました。岩本



私は半年間、非常勤として働いてきたのですがとても楽しい日々でした。来年も楽しく頑張りたいです。秦



今年の誕生日に、父からハガキが届きました。「心豊かに、しなやかに」とだけ書いてありました。そのようになればと思う今日この頃です。田邊



ラーメンピクニック

佐藤 香織

事務室だより

秋になると多彩な催しが増え、文化祭や祭りなどに多く参加させて頂く機会があります。そんな中、11月18日(日)ボランティア仲間ラーメン党が主催されるラーメンピクニックに今年もまた参加させて頂きました。言うまでもなく、ラーメンを食べる事が出来るのですが、他にも野外ステージが組まれたり、フリーマーケットやテントでは、福祉施設や作業所の方たちの展示即売があり、会場である旭志村ふれあいセンター「道の駅」は多くの参加者で大盛況でした。三気の里から参加した福嶋さん・神沢さん・橋村くん・竹下くん・岩下くん・功くんは食事や買い物を各々で楽しみ、中でもカラオケ大会では、功くんが「いい日旅立ち」・橋村くんが「函館の人」を皆さんの前で熱唱して景品の温泉券まで頂き、大満足のようでした。ラーメン党の皆様、本当にありがとうございました。

「おかし食べる。」と言いなから事務室に入ってくるのが浩ちゃんです。浩ちゃんの挨拶は「おかし食べる。」なんだと私は覚えることにしました。ある日浩ちゃんは、事務室へ入って来て、「おかし食べる。」の後にお尻からプツ。と指切り。指切りしたや否やすぐに又プツ。もうおかしくなりました。自由自在にプツ。と出来るし、「約束できる。約束できる。」と指を出してくれます。こんな浩ちゃんとの会話を楽しみながら仕事をしています。橋口

〔後援会ありがとう〕
山本英則・立坂 通・足田将大
藤岡達弥・清田翔平・北原慎也
槻木政彦・村上淳一・道上裕佳
吉尾寛史・木山和成・笹原江梨
廣瀬宗良・亀山勝彦

※敬称略



心理リハビリテーションの会

第24回全国大会に参加して

石井 康就

去る11月28日・29日の2日間、福井県で行われた心理リハビリテーションの会・第24回全国大会に参加させていただきました。心理リハビリテーションのキャンプへは何度か参加したことがありましたが、全国大会に参加したのは今回が初めてで、キャンプとはまた違った意味で学ぶことが多くあるものでした。

一日目は、基調講演・シンポジウム・公開実技が行われました。基調講演では、スポーツ選手に動作法を実施し、様々な効果が得られた事例が紹介されたりと、動作法が色々な方面で生かされていることをあらためて感じさせられました。

二日目の分科会では、パニックが頻繁にある子、また自宅や学校で飛び出しがあり、そのまま帰ってこれない子等に対して訓練をし、その効果と変化をまとめた事例の発表がありました。色々なバリエーションを用いて訓練がされていたりと三気の里でも参考になると

ころが多くありました。

最後に私事になりますが、今回の研修の閉会式の際にトレーナーの資格認定書を頂くことができました。今までご指導頂いた方々に感謝致します。今後も今まで以上に三気の里で役立てることができよう頑張りたいと思います。



栄養の話

多量の栄養素をバランス良く含む栄養価の高い食品カキは、「海のミルク」とも呼ばれています。体の衰弱・疲労や精神不安・不眠があるような人に効果的。増血作用もあり、貧血症の人にも有効です。また肝臓の働きを助け、スタミナ源となるグリコーゲンも多く含まれており、肝臓の弱い人・お酒の好きな人にもおすすすめ。他の貝類と違って消化・吸収が良いもの、大きな魅力の一つと言えます。風邪予防も期待出来るため、カキで元気を付けて楽しく冬を満喫しましょう。

矢野

菊池・阿蘇地区知的障害者施設

職員第3回定例研修会

笠松 正秀

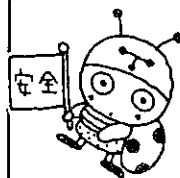
12月9日に菊池福祉会館にて、定例研修会が行われました。この研修では「利用者の健康で文化的な暮らしや生活」をもとに、六つの項目について（住む、費やす、働く、育てる、癒す、交わる）アンケート作りをしました。その中でも、働く（勤労生活、公正と生活保障）について作りました。

例えば、仕事（作業）のやりがいはあるか？その仕事は自分にあってるか？など。質問としては簡単なのですが、答える側としては少し考えてしまうような内容のものでした。

誰でもアンケートに答えたことはあると思いますが、いざアンケートを作る立場に立つて見ると今まで考えたことのないことを考えたり、当たり前だと思ってきたことを見直したりと、自分の視野がとてつもなく広がったような気がします。私達が、何げなく生活している毎日においても、もう少し深く考える点がある事を研修会において学びました。

初めての参加で手探り状態で臨んだ研修でしたが、いつもの仕事では学べないような貴重な体験をさせて頂いたと思います。これからも初心忘れるべからずで研修で学んだことを生かしていくつもりです。

食当室営業中



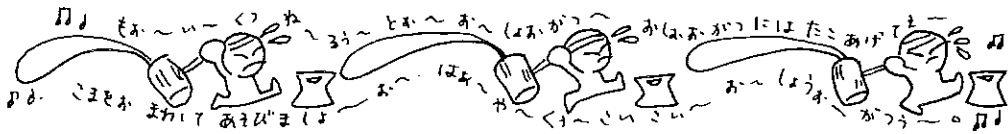
暖冬とは言え、寒さが増してきた今日この頃。年末ともなると、何かと大忙しの毎日です。今年も新メニューが続々増えて、調理も楽しく、「新メニュー美味しかったよ」と言うのを聞くと、厨房一同とても嬉しくて次の意欲が湧いてきます。今年の失敗を反省しながら、来年は、もっと美味しく喜んでもらえる食事を作っていくたいとおもいます。

営業を続けるためにも、衛生面に気を付けて頑張ります！ 金丸



1月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
					◆ 初顔合わせ	
						→冬季帰宅訓練終了
4	5	6	7	8	9	10
					◆ 舞永くんの誕生日(27)	
帰園受け入れ週間						
11	12	13	14	15	16	17
				Ⅱ 成人式 光紀くんの誕生日(27)	◆ 保護者会	
18	19	20	21	22	23	24
◆ 4班レク	◆ 3班レク		◆ 1班レク			
25	26	27	28	29	30	31
	◆ 2班レク	◆ 5班レク	◆ 章くんの誕生日(30)		◆ 帰宅バス 絵くんの誕生日(29)	



ボランティアア通信

今年も、一年を振り返る時期になりました。月日が流れるのは早いものです。ボランティアの皆さんにとってどんな一年だったのでしょうか。

今年も行事や、散髪・ブラッシング指導・生け花にたくさんボランティアの方々が来て下さいました。お忙しい中、時間を作ってボランティアに来て下さった皆様に感謝致します。

三気の里の皆はボランティアの方々が大好きで、遊びに来て下さるのをとても楽しみに待っていますので、来年も是非遊びに来て下さい。どうぞ宜しくお願いします。

☆ボランティアありがとう
☆ブラッシング指導 前瀬 隆子

麻生



後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼ」をお送り致します。

振り込み先

口座番号

0197018114902

社会福祉法人 三気の会後援会

住所

熊本県菊池郡大津町森54-2

一口 3千円



編集後記

そう、あれは9月のまだ暑い日、僕は結婚をした。そして来年...ば、僕はパパになる。

今年は何んなことがありました。結婚、普通免許取得、餅つき大会の時のキックリ腰。ただ普通に歩いていたら、「グキッ!」。

あれは痛かった。この歳で(20歳)なるとは思いませんでした。腰の大事さも分かった。もしかして、身体的にもパパ?

なにはともあれ、来年も頑張ろう...かな。

笠松